

令和8年度 福島中学校 シラバス

学 年	2	教 科	社会	担 当	松永 尚登	時 数	105
-----	---	-----	----	-----	-------	-----	-----

◆教科の目標

地理的分野・歴史的分野・公民的分野（3年次のみ学習）の三分野を総合的に学習することで、物事を多面的・多角的に考察する力を養い、自己の将来に向け自ら判断し切り開く力を育む。

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣 旨	<地理的分野> 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 <歴史的分野> 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	<地理的分野> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 <歴史的分野> 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<地理的分野> 日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 <歴史的分野> 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆年間指導計画

月	分野	単 元 名 【 時 間 】 (合 計)	学 習 内 容	観点別評価の規準 【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行うおうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度	評価方法
4月	地理的分野	日本のさまざまな地域 日本の地域的特色 【20時間】 (20時間)	<u>講義形式・ペアグループ</u> - 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の①自然環境に関する特色を理解する。 - それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目させて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 - 日本の地域的特色と地域区分について、課題を主体的に追究できる。	【知】日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の①自然環境に関する特色を理解している。 【思】①自然環境②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
5月					
6月	歴史的分野	近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策の変化 産業の発達と幕府政治の推移 【20時間】 (40時間)	<u>講義形式・ペアグループ</u> - ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解する。 - 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けするなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できる。 - 近世の日本について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。 - 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化・各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 - 近世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現できる。	【知】ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。 【知】社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。 【思】交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けするなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】近世の日本について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【主】産業の発達と幕府政治の動きについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート 【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート ・発言 【主】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・ノート ・話し合い活動
7月					

9月	地理的分野	日本の諸地域	講義形式・ペアグループ	【知】自然環境を中核とした考察の仕方 で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象を理解している。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート
		九州地方 中国・四国地方 近畿地方	・九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・交通・通信を中核とした考察の仕方 で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ・中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現できる。 ・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。	【思】中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【思】近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
10月	歴史的分野	開国と近代日本の歩み	講義形式・ペアグループ	【知】開国とその影響などを基に、幕府が対外政策を転換したことと、それが国内の大きな変化につながったことを理解している。	【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート ・発言
		欧米における近代化の進展	・欧米の進出と開国などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本における開国とその影響を多面的・多角的に考察し、表現する。	【思】欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを考察し、表現している。	
		欧米の進出と日本の開国	・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して、日本の国際的地位が向上したことを理解する。 ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究できる。	【思】明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【思】外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【主】明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
12月	歴史的分野	明治維新	【16 時間】 (76 時間)		・話し合い活動
		日清・日露戦争と近代産業	講義形式・グループ活動	【知】日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 【思】議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
1月	地理的分野	関東地方 東北地方 北海道地方 地域調査	講義形式・ペアグループ	【知】関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 【知】交通・通信を中核とした考察の仕方 で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、生ずる課題を理解している。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート
		【20時間】	・東北地方において、その他（生活・文化）の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現できる。 ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想、表現できる。 ・北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。 ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想、表現できる。	【思】東北地方において、その他（生活・文化）の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【思】北海道地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【主】地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
		（105時間）			
3月	地理的分野				

